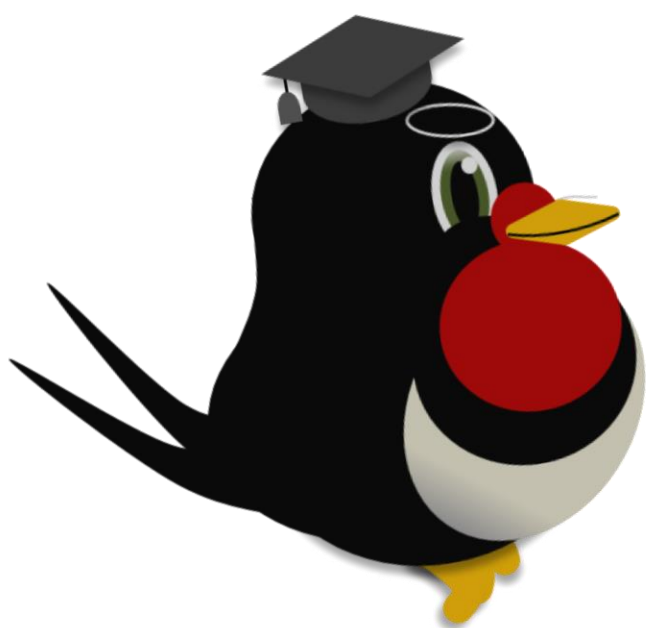


令和2年度  
羽ばたけつばくろ  
応援事業



活 動 報 告 書

燕市教育委員会

## ～小学生から20歳までのみなさんの『夢』を募集します～ 羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を実施しています。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から20歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から20歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

若者が将来なりたい自分を設計し、実現するための自己啓発、体験活動、学習、研究、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は10万円、団体は25万円を限度にして補助を行います。

若者たちの「達成したい目標」、「叶えたい夢」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」の実現に向け一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年2月に実施している発表形式の成果報告会の開催が中止となったため、燕市ホームページ上で各団体の発表動画や活動の中で制作した成果物などを公開しています。

本報告書と併せ、燕市ホームページ上での成果報告をご覧いただき、燕市を活性化させる素晴らしい活動について知る機会としていただければと思います。

## 未来の燕「飛翔宣言」～深めよう！広げよう！「燕愛」～



【団体名】燕東小学校 飛翔学年  
【代表者名】清水 縁

<p>活動の目標</p>	<p>地域産業のPR活動や地域の人材や専門家との「街づくり」の学習などで思い描いた、故郷“燕”の未来の姿を未来の燕『飛翔宣言』としてまとめ、市に提言することを通して、「ふるさと燕」への「愛着」と「誇り」を一層深めると共に、「自分たちも地域に貢献する1ピース」という意識を高める。</p>
<p>活動の内容</p>	<p>①「燕 SPIRITS(燕のものづくりの技術や職人魂)をPRしよう！」と②「私たちの未来 燕の未来」、この2つのプロジェクトを進めていく過程で深まった・広がった飛翔学年の燕愛。そして、自身の夢、燕の未来、これらを掛け合わせて「未来の燕★飛翔宣言」としてまとめ、発信する。</p> <p>①のプロジェクトにおける活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燕 SPIRITS 動画の作成・修学旅行先(福島県)での発表</li> <li>・チラシやDVDの配布・市内での成果発表会の実施</li> </ul> <p>②のプロジェクトにおける活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政や市の課題、取組について学ぶ</li> <li>・地域で活躍する方の講演会を通して燕の未来を考える</li> <li>・深まった燕愛や「未来の燕市」をテーマにした歌作り</li> <li>・「未来の燕×燕愛」デザインアートの製作</li> </ul> <p>歌とデザインアートの披露と共に、一人一人がどんな燕市にしたいか、自身の夢と掛け合わせて考え、未来の燕市について提言する。</p>
<p>活動の成果</p>	<p>ポスター・動画等の作成とそれらを活用した発表で地域の魅力を多くの人にPRすることができた。「燕に行ってみよう！」「燕は日本の誇りですね。」などというお褒めの言葉を頂いたり、関係した企業の方々に「地域を代表してPRしてくれてありがとう」と言われたりしたことで、地域に貢献したという実感を得ることができた。そのことで、さらに自分たちの燕愛が深まった。</p>

	<p>地域の課題や取組、地域活性化の視点について、講師から学べたことは燕のことをより深く知るきっかけとなった。過去・今を知ることによって燕の未来についてより具体的にイメージすることができるようになった。「料理人になって多くの人を燕に呼びたい」「大好きなサッカーを通じて、スポーツが盛んな街にしていきたい」など、自分の「夢」や「好き」と未来の燕とをつなげて考えられるようになった。燕愛をテーマにした歌やデザインアートの製作は、苦労もあったが、今そして未来の燕を表現することができ、大変有意義だった。</p>
<p>これからの目標</p>	<p>地域の方々の協力のもと、様々な活動が実現できた。デザイナーのシマダマサノリさんから「燕の魅力をPRするだけでなく、今度は燕の未来を創っていく側の人間になってほしい」というエールをもらった。これまでお世話になった方々への恩返しとして、「私が未来の燕市を創っていく」という視点をもって、生活していく。</p>

## 糸半(いとはん)プロジェクト

～いざというときに命を守ることができるために 今、私たちができること～



【団体名】小池中学校生徒会

【代表者名】川村 帆乃花

五十嵐 遥斗

星野 来未

活動の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>●平成 27 年度より先輩方がスタートさせた糸半プロジェクトの名称に込められた思いを、今年度の企画活動テーマの下で実践する。</li><li>●糸半プロジェクトを小池中学校生徒会が地域の皆さんと一緒に行う活動の名称として、更に地域との「絆」の象徴として広く知ってもらえるようにする。</li></ul>
活動の内容	<p>今年度は、これまでの地域貢献活動に加えて、次の3点に関して活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①災害から身を守るために</li><li>②新型コロナウイルス感染症から身を守るために</li><li>③犯罪から身を守るために</li></ul> <p>また、活動の様子を糸半新聞と冊子にまとめて、地域に情報発信を行った。</p>
活動の成果	<p>感染禍のため、地域の皆さんと直接関わる場面は少なかったが、災害から身を守るという視点で考えを深めることができた。特に、3年生の道徳では、災害時には目に見える問題や出来事より、そこにいる人の思いや背景に想像力を働かせて、何が問題の本質かを考えることの大切さに気付くことができた。</p> <p>中学生として、地域の一員として、学習の様子や考えたことを糸半新聞と冊子で地域に情報発信できた。</p>
これからの目標	<p>地域で防災訓練に取り組む防災意識の高い地域だからこそ、新たに防災マップの作成に取り組んだ。令和3年3月現在、まちづくり協議会の役員の方から防災マップの内容確認をいただいている。防災マップについては確認後、学校ホームページに掲載をする。今後は、定期的に見直して Web 上の防災マップを更新していく予定である。</p> <p>これからも地域の皆さんと防災を共通のテーマとして取り組んでいく。</p>

自分の夢とみんなの願いをかなえよう！  
 ～小中川小発信！エコバック推進運動～



【団体名】 燕市立小中川小学校  
 【代表者名】 吉田 彪将

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の一員の一人として、地域に貢献することができる活動を考え、地域の人たちと協力しながら、社会的な問題を解決するために意欲的に活動する企画力・実行力を育てる。</li> <li>●ふるさと燕市・小中川地域・小中川小学校を愛する心を育てる。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①環境ポスター作り</li> <li>②マイ・エコバッグ作り</li> <li>③Tシャツアート展への参加</li> <li>④エコ標語コンテスト</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスーパーの店頭でエコバック推進のPR活動（4回）。</li> <li>・地域のスーパーとの共催でエコ標語コンテストを開催。</li> <li>・手作りの環境問題リーフレットを地域に配付（800部）。</li> <li>・環境問題とエコ標語コンテストを伝えるPR動画の作製</li> <li>・優秀賞に進呈するオリジナルエコバッグデザイン作製（300枚）</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<p>最初は、独りよがりの（一方的な）活動ではあった。それでは地域の人たちに分かってもらうことができないことに気づき、「エコ標語コンテスト」を地域のスーパーと共催で行うというアイデアに行きついた。地域を巻き込んだ「エコ標語コンテスト」にするために、工夫をしながら進めていった。この「エコ標語コンテスト」の企画と運営を通して、地域との双方向の関わり合いが生まれ、地域への貢献を実感することができた。</p>
<p>これからの目標</p>	<p>令和元年度は、3年生が地域に働き掛けをしながら「車いす看板設置運動」に取り組んだ。令和2年度は、6年生が「エコバック推進運動」に取り組んだ。今後も学校として、実社会や実生活の中から解決したい課題を見付け、地域に貢献することを意識しながら活動をつなげていきたい。</p>